

ネイティブ・シュードモナス属リポタンパク質リパーゼ

Cat. No. DIA-210

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明	リポタンパク質リパーゼ (LPL) (EC 3.1.1.34) は、臍リパーゼ、肝リパーゼ、内皮リパーゼを含むリパーゼ遺伝子ファミリーの一員です。これは水溶性の酵素で、キロミクロンや超低密度リポタンパク質 (VLDL) に見られるリポタンパク質中のトリグリセリドを、2つの遊離脂肪酸と1つのモノアシルグリセロール分子に加水分解します。また、キロミクロン残渣、コレステロールが豊富なりポタンパク質、遊離脂肪酸の細胞内取り込みを促進する役割も果たしています。
用途	この酵素は、L- α -グリセロリン酸オキシダーゼおよびグリセロールキナーゼと結合することで、血清中のトリグリセリドの酵素的測定に有用です。通常、反応はpH約7.0でテスト (3.0ml) あたり2.5 \times 3.0単位の酵素を使用することで、37°Cで5分以内に完了します。
別名	リポタンパク質リパーゼ; LPL; EC 3.1.1.34; クリアリングファクターリパーゼ; ジアシルグリセロールリパーゼ; ジグリセリドリパーゼ

製品情報

由来	シュードモナス属
外形	淡褐色の非晶質粉末、凍結乾燥された
EC番号	EC 3.1.1.34
CAS登録番号	9004-02-8
分子量	approx. 134 kDa
活性	グレードIII 20U/mg-固体以上 (安定剤約80%を含む)
混入物	フォスファターゼ < 1.0 \times 10 ⁻³ % カタラーゼ < 2.0 \times 10 ⁻² % NADHオキシダーゼ < 1.0 \times 10 ⁻³ % コレステロールオキシダーゼ < 2.0 \times 10 ⁻³ %
等電点	5.95 \pm 0.05
pH安定性	pH 7.0-9.0 (25°C, 20時間)
最適pH	7.0-9.0
熱安定性	55°C未反応 (pH 7.0、10分)
最適温度	45-50°C
阻害剤	Hg ⁺⁺ 、Ag ⁺ 、イオン性洗剤
安定化剤	Mg ⁺⁺ 、ナトリウムコレート、ウシ血清アルブミン

保管・発送情報

安定性	-20°Cで少なくとも1年間安定しています
-----	-----------------------